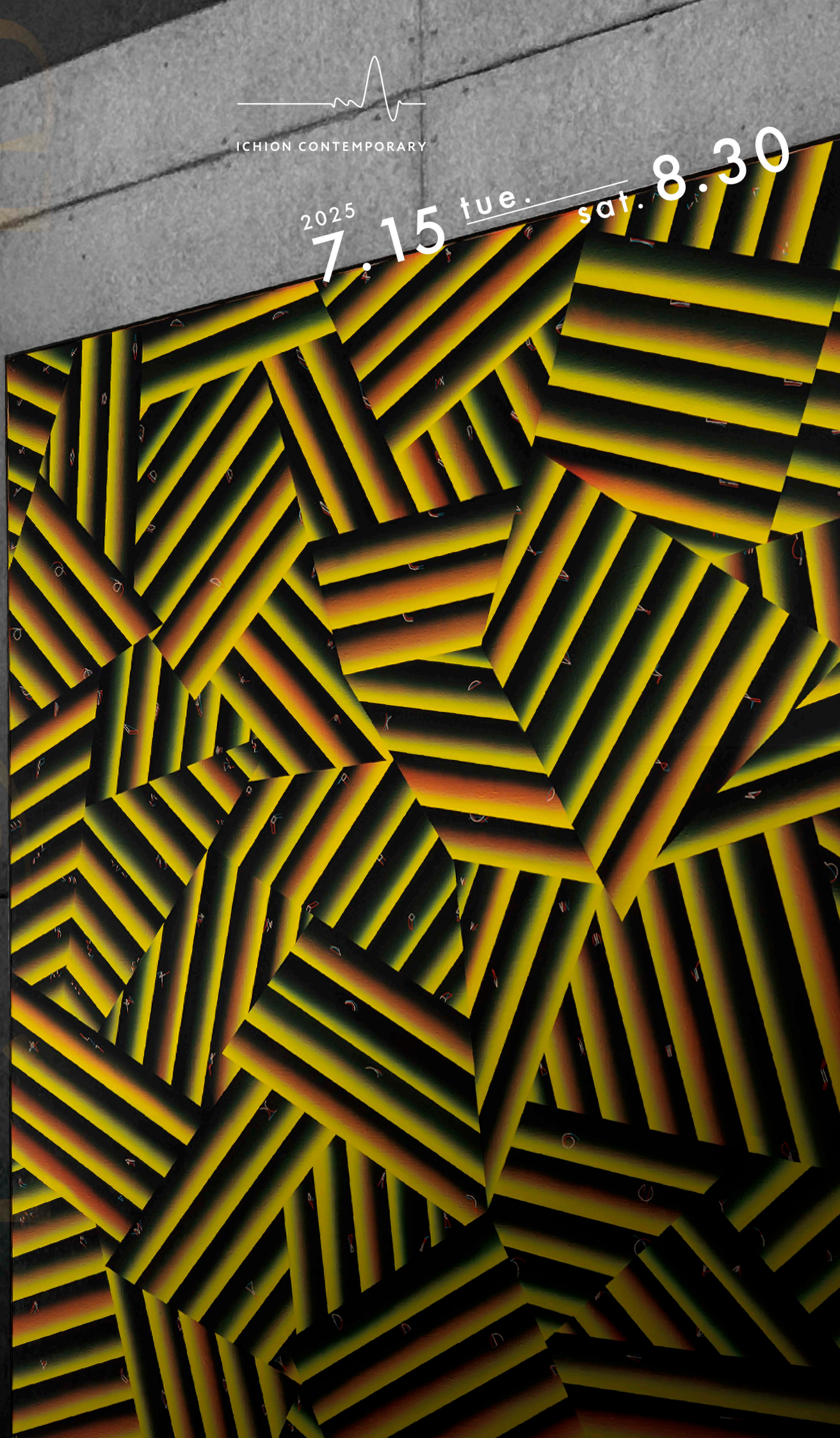
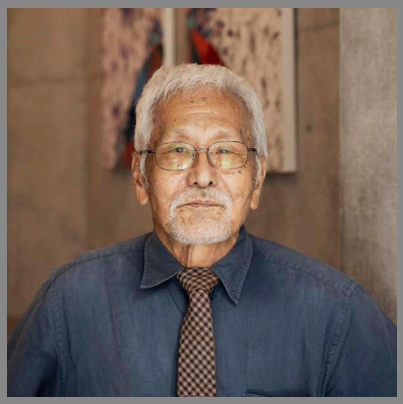
ICHION CONTEMPORARY

2025 7.15 tue. — sat. 8.30

守谷 史男 ―理想郷を求めて―





守谷史男｜経歴

守谷史男（1938年愛媛生まれ）は、行動美術協会会員、元大阪芸術大学教授、現代美術グループ「Ge」の主要メンバーとして、関西の前衛美術と美術教育に大きく貢献してきました。1960年代から70年代初頭にかけては、〈人体〉を主題に、有機的な身体と無機的構造物を対比させた具象表現を探求し、スプレー技法による人体像に生命力と冷たさ、動と静の緊張感を宿しました。1975年、O.I.F.S.海外派遣文化交流員として渡米した経験を契機に作風は大きく転換し、絵画の根源的要素である「線」「面」「色面」に着目した抽象表現へと移行。80年代にはスクラッチ技法による《作品》シリーズや変形パネルを用いた《跡》シリーズを展開し、線の反復や集積を通じて時間の痕跡や記憶の層を画面に刻みました。90年代以降は棒状や骨状の形体を秩序立てて並置する《列》シリーズ、さらには韓国の円墳や霊廟の建築的構造に着想を得た《廟》シリーズを発表し、幾何学的形態と民俗的象徴を融合させて個と集団、過去と現在が交錯する空間を構築しています。日本の戦後美術において、守谷は関西前衛美術の系譜における「物質・行為・記憶の美学」を体現し、静謐でありながら緊張感に満ちた表現で独自の地平を切り拓いています。その仕事は、地域の前衛表現の枠を超え、戦後日本美術の多様な在り方を示す重要な証言ともなっています。

守谷史男｜展覧会（1975–2024）

1962 - 2024まで行動展 出展
1975 - 2025までGe展 出展
1966 東京 第9回安井賞展（東京国立近代美術館）
1967 東京 第10回安井賞展（東京国立近代美術館）
1971 東京 第14回安井賞展（西武百貨店 池袋店）
1975 O.I.F.S.海外文化交流員として渡米
1978 兵庫 アート・ナウ'78（兵庫県立近代美術館）
1988 東京 第17回日本国際美術展（東京都美術館）
1991 大阪 陶板壁画制作（茨木市立中央図書館）
1993 大阪 大阪トリエンナーレ1993（マイドームおおさか）
1993 東京 第22回現代日本美術展（東京都美術館）
1996 大阪 陶板壁画制作（茨木市立障害福祉センター）
2000 大阪 個展（信濃橋画館）
2001 大阪 個展（画廊ぶらんしゅ）
2001 大阪 大阪トリエンナーレ2001（CASO・海岸通ギャラリー）
2005 大阪 大阪国際アートフェスティバル（大阪南港ATC）
2005 大阪 個展（茶屋町画廊）
2005 大阪 美の冒険者たち（アートコートギャラリー）
2006 大阪 個展（画廊ぶらんしゅ）
2006 大阪 美の冒険者たち（アートコートギャラリー）
2007 兵庫 全関西行動60回記念展（兵庫県立美術館・王子分館）
2009 東京 ユニグラバス展（ギャラリーユニグラバス銀座館）
2009 大阪 個展（画廊ぶらんしゅ）
2009 大阪芸術大学定年退職
2011 奈良 個展（ギャラリー勇斎）
2014 東京 ベストセレクション美術（東京都美術館）
2015 大阪 個展（画廊ぶらんしゅ）
2017 奈良 27人の距離（ギャラリー勇斎）
2017 大阪 個展（画廊ぶらんしゅ）
2019 大阪 個展（画廊ぶらんしゅ）
2021 奈良 個展（ギャラリー勇斎）
2021 大阪 個展（画廊ぶらんしゅ）
2023 大阪 個展（画廊ぶらんしゅ）
2023 奈良 六月の無題展（ギャラリー勇斎）
2023 大阪 「日本現代美術の足跡と未来」ICHION CONTEMPORARY
2024 大阪 「戦後美術コレクション展」ICHION CONTEMPORARY
2023 奈良 個展（ギャラリー勇斎）

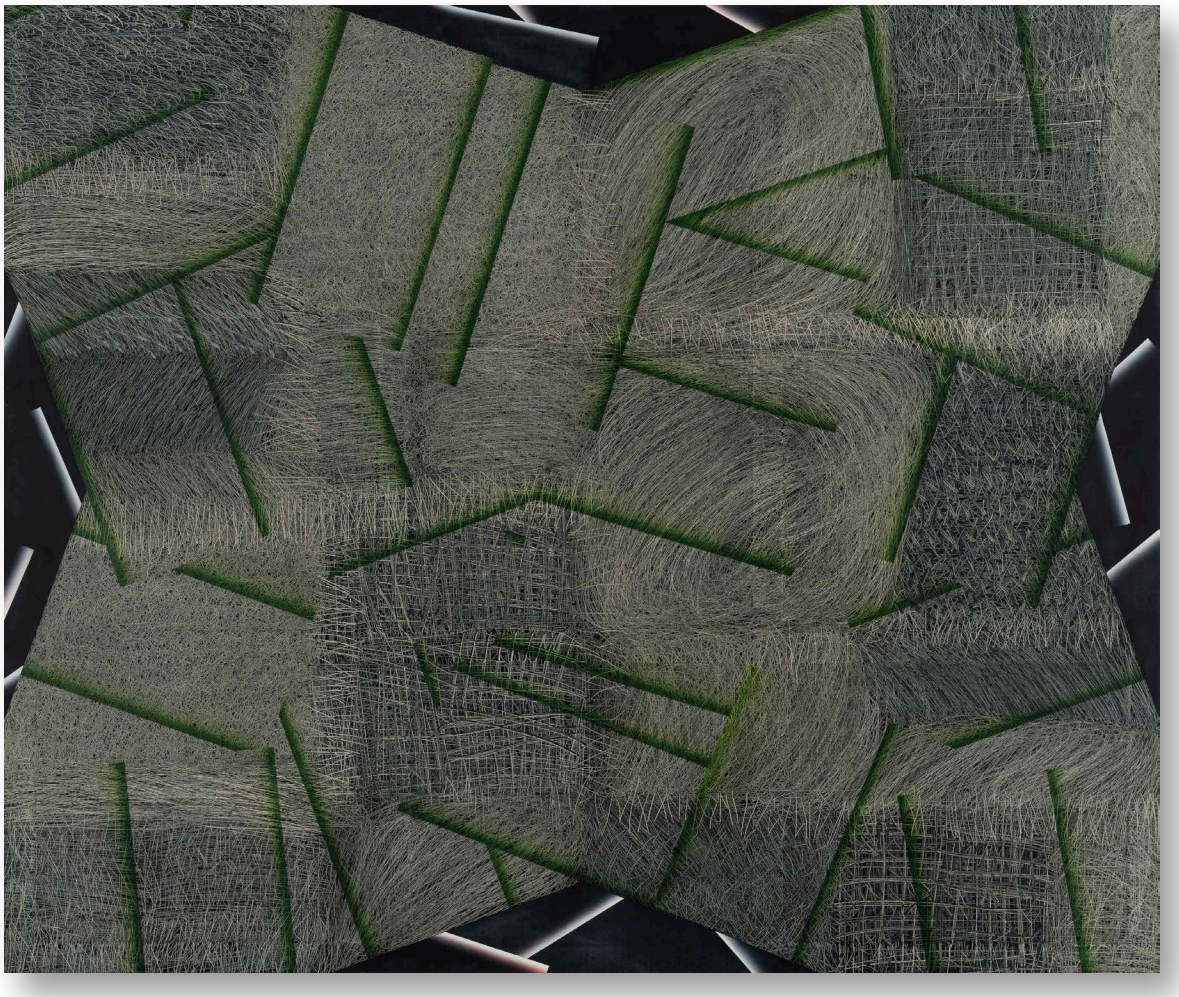
シャングリラ――それは、雪深いはるか彼方の山の奥に隠され、人の心の奥底にだけ存在し続ける理想郷の名。ジェームズ・ヒルトンの小説『失われた地平線』（1933年）に描かれたこの地は、永遠の静寂と調和に包まれ、決して到達することのできない幻想の地として語り継がれてきました。守谷史男は、誰も見たことのない「心の中の理想郷」に向け、半世紀以上にわたりひたむきに歩み続けてきました。1960年代には〈人体〉を主題とし、生命の有機的なかたちと無機的な構造物を対置させ、スプレー技法による圧迫された身体像を通じて、存在の緊張と葛藤、動と静の相克を描きました。1975年の渡米を契機に、守谷のまなざしは次第に絵画の根源的な構成要素である「線」「面」「色面」へと向かい、表現は抽象へと深化していきます。80年代以降、スクラッチ技法で絵具層を削り出し、線の反復や集積によって時間や記憶の痕跡を刻む《作品》や《跡》シリーズを展開。さらに、秩序とわずかなズレが静かなリズムを生む《列》、古代の円墳や霊廟の建築的記憶を幾何学的形態に昇華した《廟》シリーズへとその探求は広がりました。守谷の作品には一貫して「物質と行為」「記憶と時間」「構築と痕跡」が交錯し、その探究の歩みは、到達することのない理想郷に向かって続く果てなき旅そのものです。彼の作品が目指したものは、形なき理想の姿であり、その不在を手がかりに私たちは問いを深め、想像を広げていくのです。本展は、守谷が生涯をかけて追い続けた「Shangri-La」の輪郭を、具象から抽象までの主要作品を通じて辿る試みです。見る者の心にひそむ理想郷が、守谷の作品の前でそっと輪郭を現すことを願ってやみません。

ICHION CONTEMPORARY

1

Work（79-07）
作品（79-07）

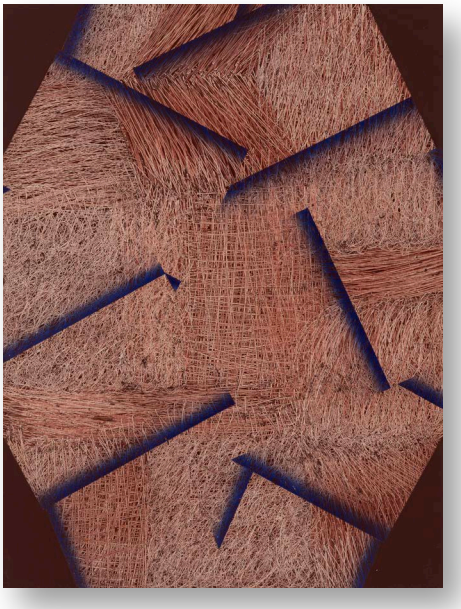
1979 / oil on canvas 195.0×163.1cm
油彩



2

Work
作品

1981 / oil on canvas 162.3×194.0cm
油彩



3

Work
作品

1980 / oil on board 47.6×36.5cm
油彩

4

Work
作品

1980 / oil on canvas 90.5×64.5cm
油彩

5

Work
作品

1975 / oil on canvas 147.0×132.0cm
油彩

6

Stuff （2）
詰める（2）

1975 / oil on canvas 180.0×279.2cm
油彩

7

Stuff
詰める

1975 / oil on canvas 91.0×91.0cm
油彩

8

Work
作品

1976 / oil on canvas 92.7×92.7cm
油彩

9

Work（83-10）
作品（83-10）

1983 / oil on canvas 164.0×226.6cm
油彩

10

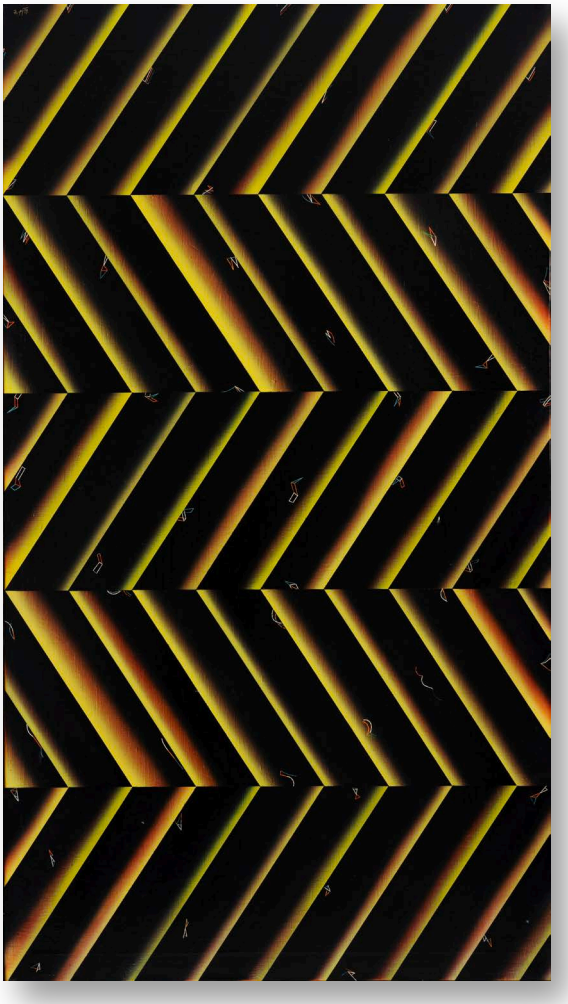
Work（83-06）
作品（83-06）

1983 / oil on canvas 73.0×61.0cm
油彩

11

Work（83-07）
作品（83-07）

1983 / oil on canvas 94.2cm×75.8cm
油彩



12

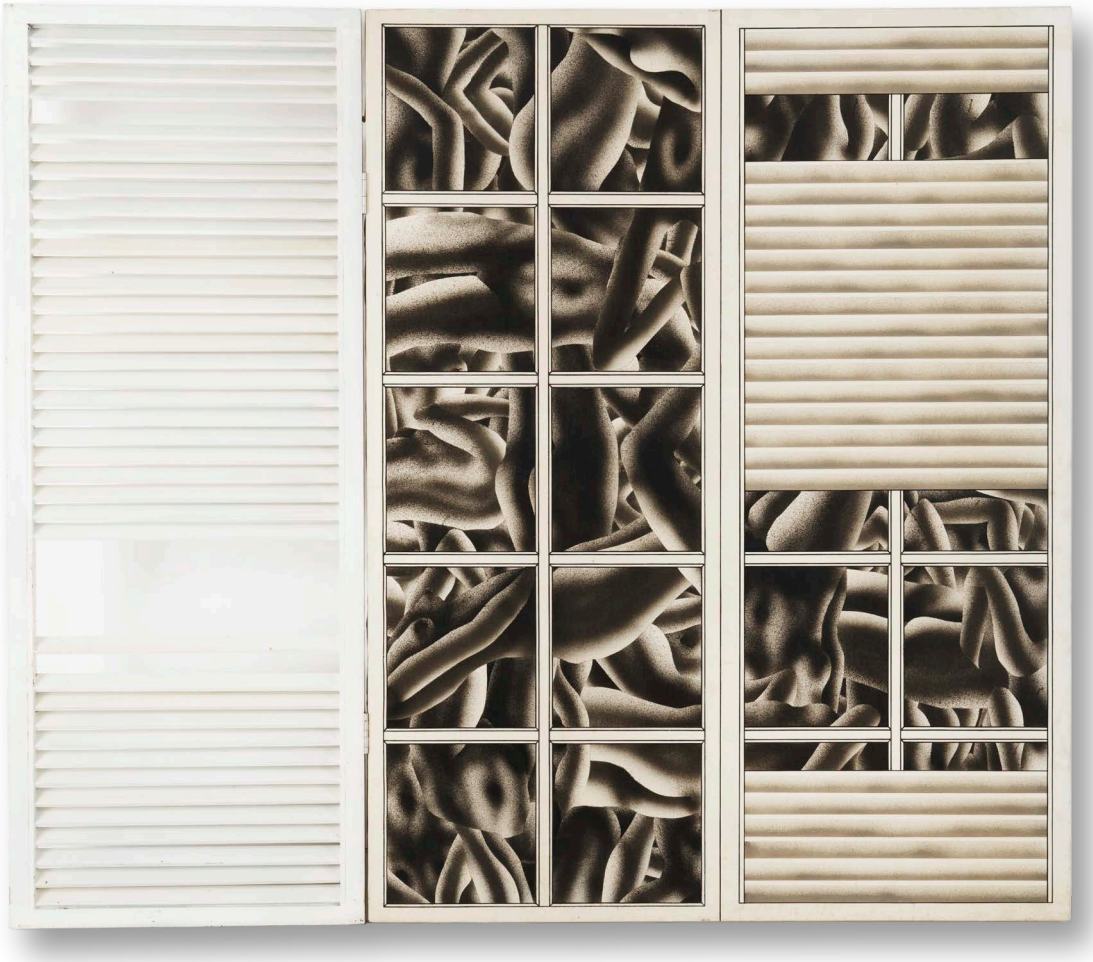
Work（79-11）
作品（79-11）

1979 / oil on canvas 131.4×74.6cm
油彩

13

Stuff（Two Cups）
詰める（コップ2コ）

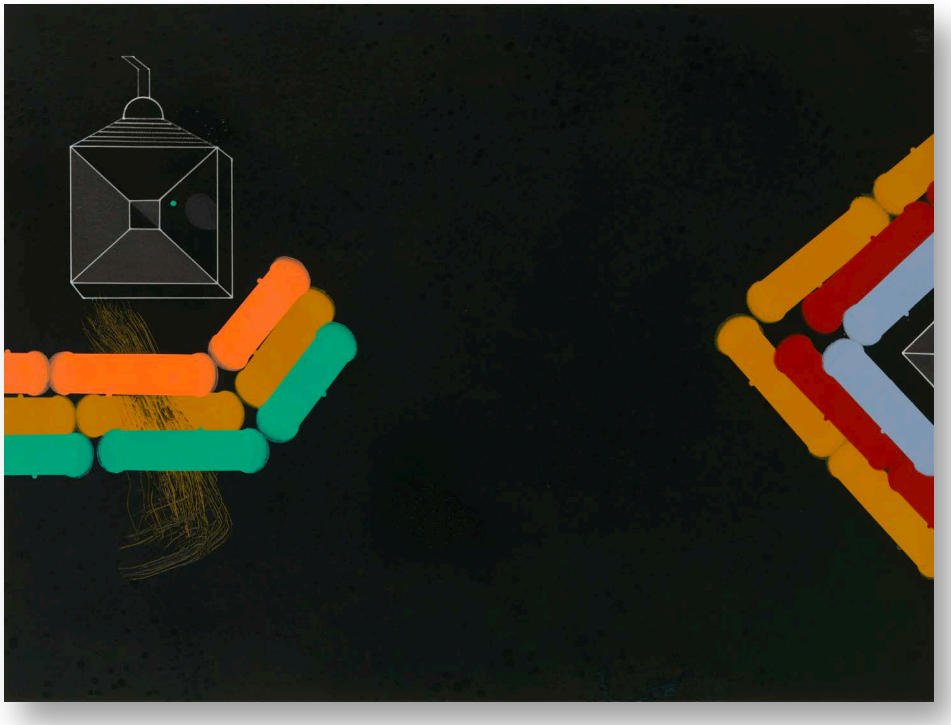
1976 / oil on canvas 163.5×228.9cm
油彩



14

Window（71-02）
窓（71-02）

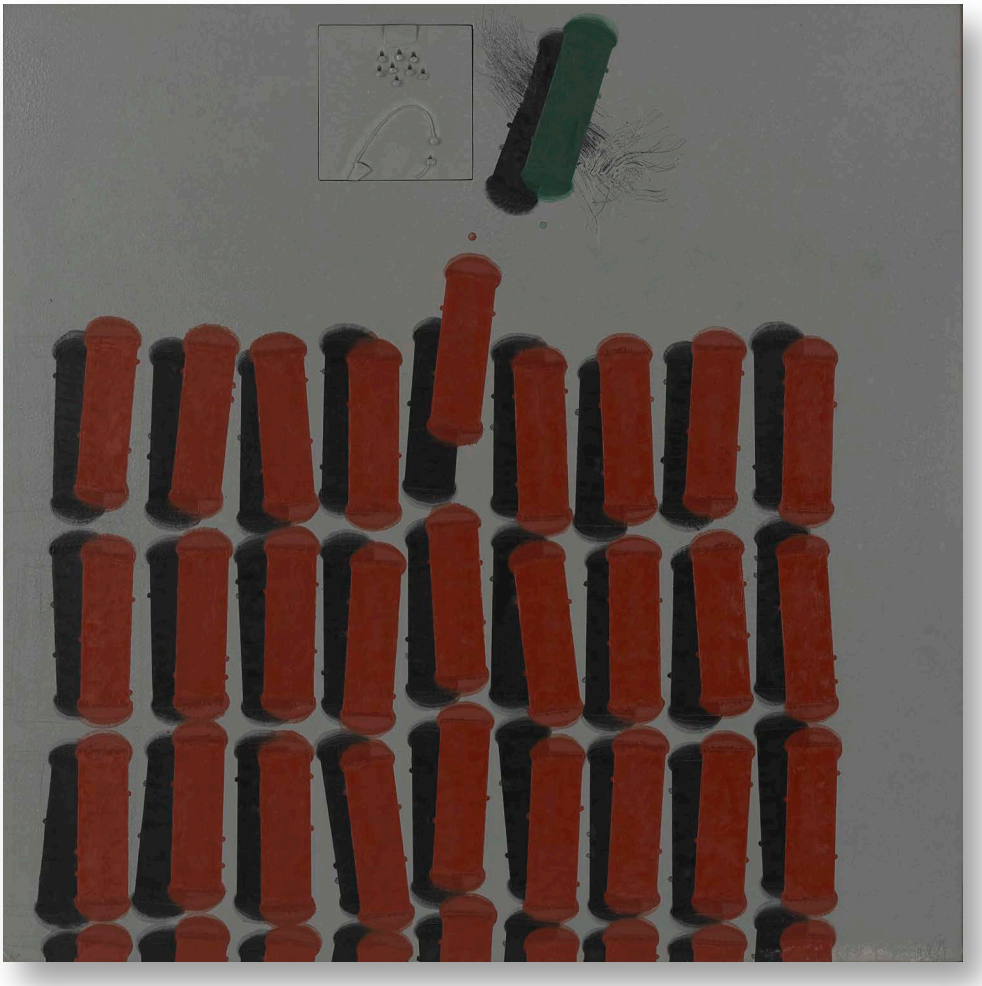
1971 / mixed media 145.5×168.5cm
ミクストメディア



15

Tumulus
郭

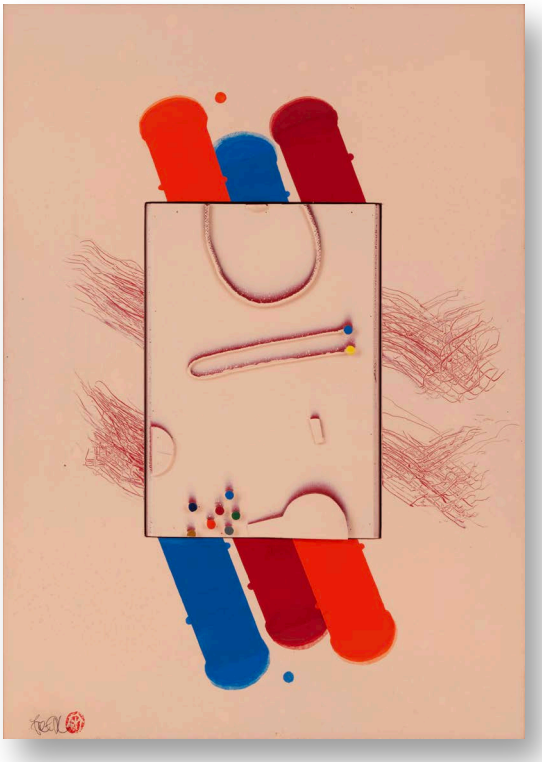
1996 / oil and gofun on panel 96.0×72.2cm
油彩、胡粉



16

MARKS
跡

1994 /mixed media 101.5×101.5cm
ミクストメディア



17

MARKS
跡

1995 /oil and gofun on panel 52.6×37.4cm
油彩、胡粉

18

MARKS（96-01）
跡（96-01）

1995 / mixed media 71.8×71.8cm
ミクストメディア

19

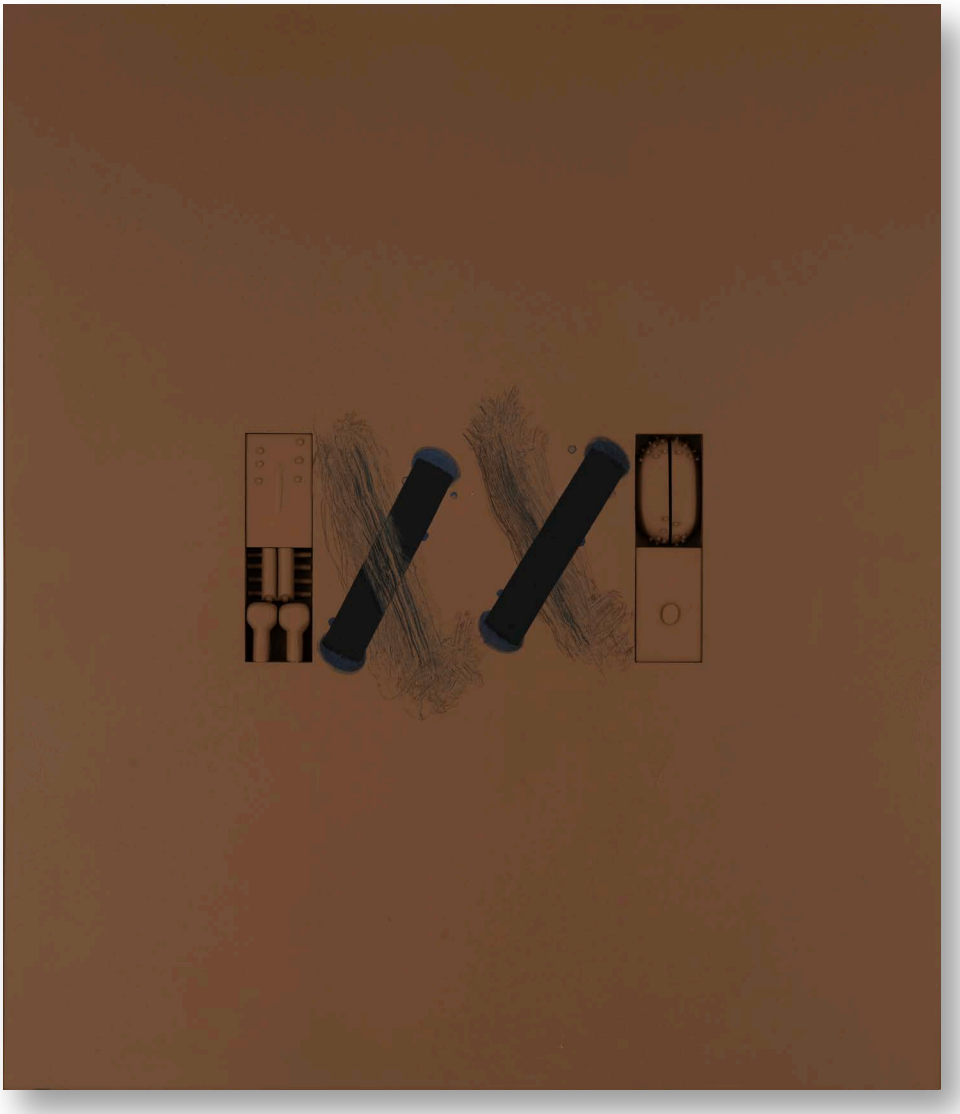
Tumulus
墳

1991 / mixed media 75.2×62.3cm
ミクストメディア

20

MARKS（94-04）
跡（94-04）

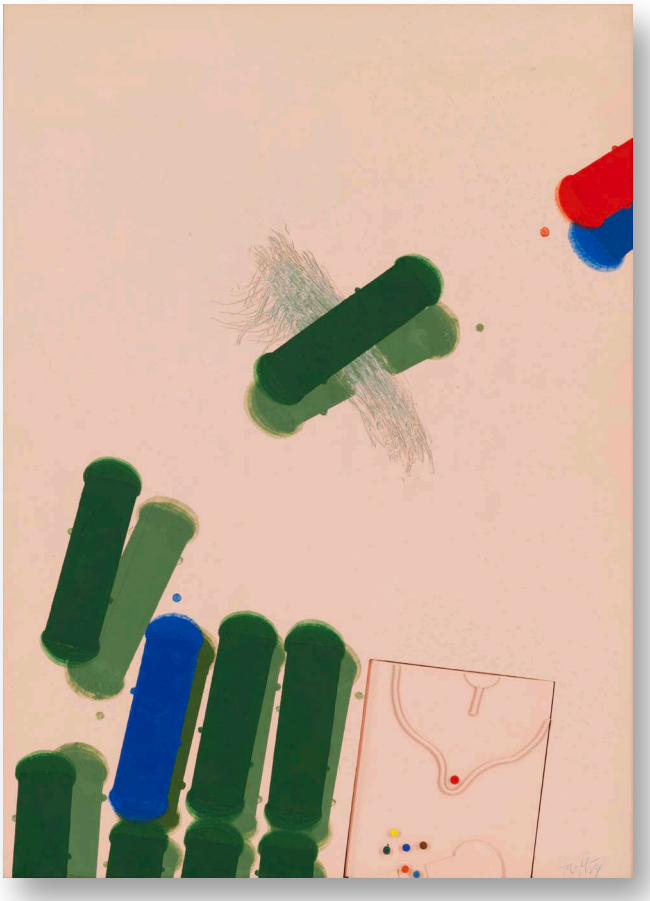
1994 / mixed media 162.0×140.2cm
ミクストメディア



21

MARKS（92-15）
跡（92-15）

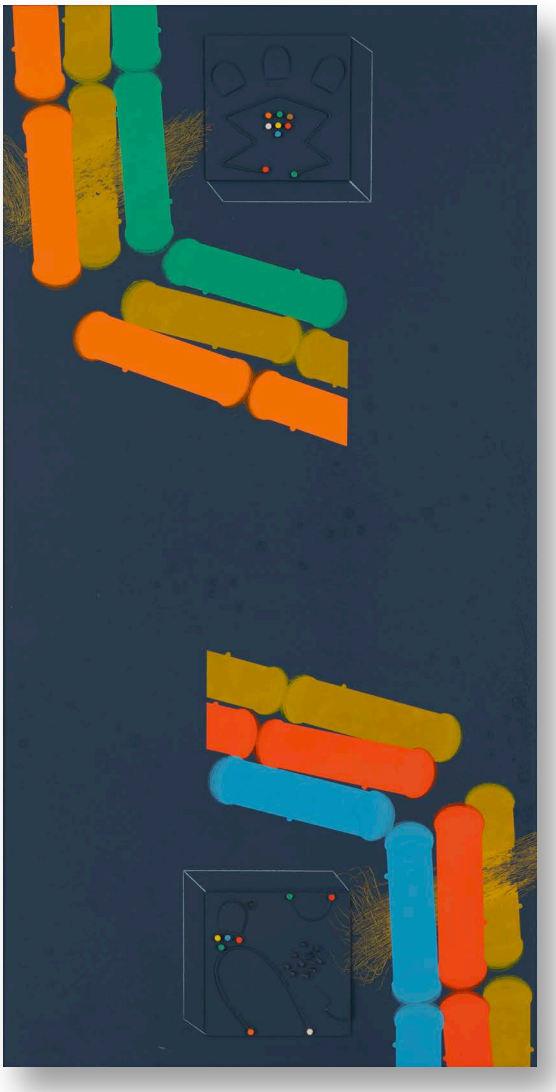
1992 / mixed media 163.8×141.7cm
ミクストメディア



22

Line
列

1995 / oil and gofun on panel 72.5×51.2cm
油彩、胡粉



23

MARKS（95-12）
跡（95-12）

1995 / mixed media 101.6×52.0cm
ミクストメディア

24

Line
列

1997 / oil and acrylic on canvas 101.3×46.3cm
油彩、アクリル

25

Shrine（24-08）
廟（24-08）

2024 / oil and acrylic on canvas 232.0×162.0cm
油彩、アクリル

26

Shrine（09-06）
廟（09-06）

2009 / oil and acrylic on canvas 103.0×72.8cm
油彩、アクリル

27

Shrine（09-05）
廟（09-05）

2009 / oil and acrylic on canvas 103.0×72.8cm
油彩、アクリル

28

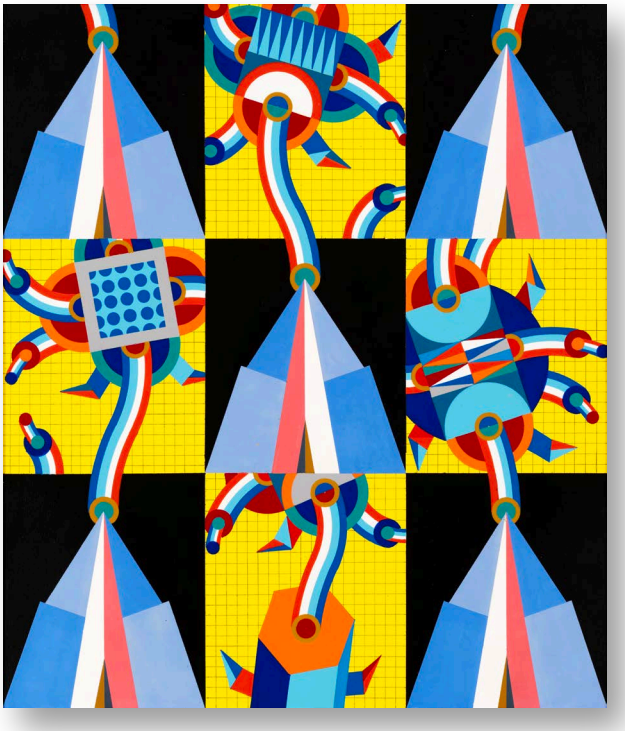
Shrine（04-04）
廟（04-04）

2004 / oil and acrylic on canvas 104.5×74.5cm
油彩、アクリル

29

Shrine
廟

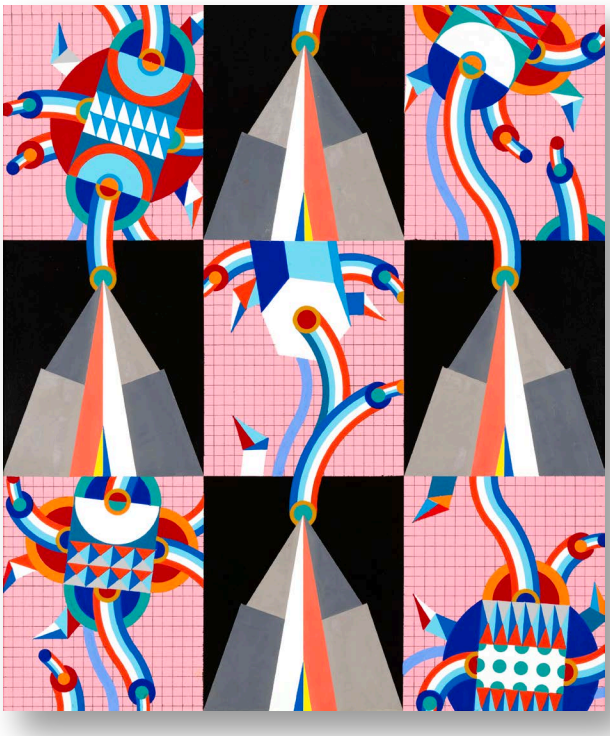
2008 / oil and acrylic on canvas 42.1×29.9cm
油彩、アクリル



30

Shrine（16-01）
廟（16-01）

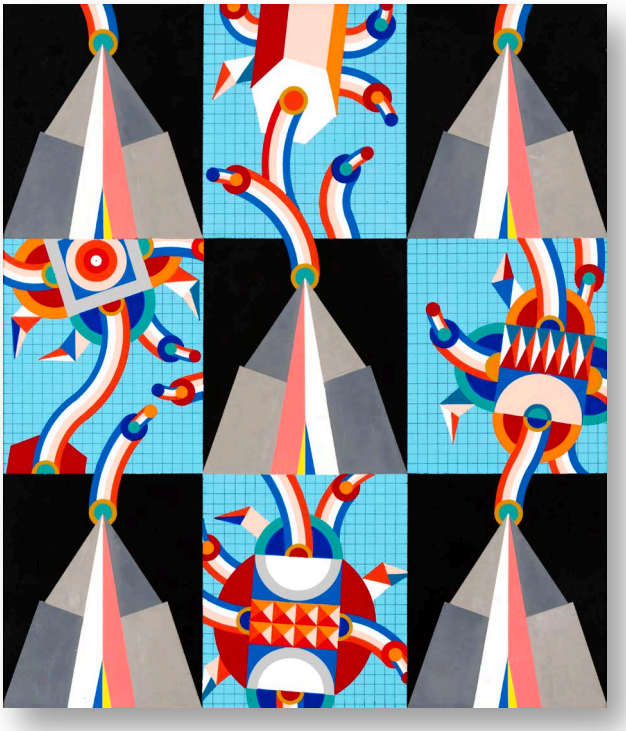
2016 / oil and acrylic on canvas 54.1×46.5cm
油彩、アクリル



31

Shrine
廟

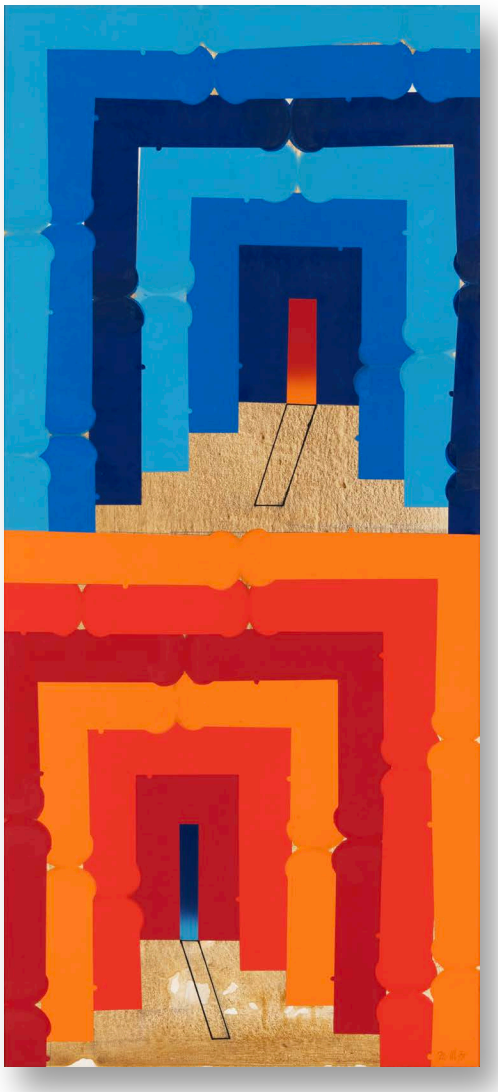
2016 / oil and acrylic on canvas 54.1×46.5cm
油彩、アクリル



32

Shrine
廟

2016 / oil and acrylic on canvas 54.1×46.5cm
油彩、アクリル



33

Gate
門

1998 / oil and acrylic on canvas 101.8×46.3cm
油彩、アクリル

34

Shrine
廟

1999 / oil and acrylic on canvas 101.8×51.4cm
油彩、アクリル